



人類に奉仕する
ロータリー



「地域社会にロータリークラブを広げて行こう」 山形南ロータリークラブ会報

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2800

RI会長：ジョン・ジャーム 2800地区ガバナー：長谷川憲治 ガバナー補佐：長沢 一好
会長：寺崎 利彦 幹事：浅野 裕幸
会報・史料委員会 委員長：佐藤 直人 委員：金田 亮一 山田 仁

第2135回例会

2016-7/12(火) 天気(晴れ)

□例会場：ホテルキャッスル

□点 鐘：PM 12:30 寺崎 利彦 会長

□司会進行 (SAA)：谷口 義洋 君

□ロータリーソング：「奉仕の理想」

会長挨拶



皆さんこんにちは。7月7日は七夕でした。短冊に願い事を皆さん書きましたか。私は、この1年無事に港に帰港出来ますようにと書きました。

1615年(慶長20年)7月7日「武家諸法度」制定。大坂夏の陣で、豊臣氏を滅ぼした徳川家康は、その直後に諸大名を伏見城に集め、「武家諸法度」を發布した。武家を統制する為のこの法令で、文武両道の奨励や新規築城の禁止と修理の厳しい制限、幕府の許可のない結婚の禁止などが定められ、違反した者は厳罰とした。幕府が戦乱の世に終わりを告げて、天下泰平の時代への移行を宣言した日とあります。現代に大きな影響を与えた決断がこの日に行われたのです。

さて、7月8日に東京西ロータリークラブのホテルオー

クラでの例会に出席して参りました、180名の大所帯でした。驚いたことは、ニコニコの金額の予算と集め方です。例会の始まる前、入口で各自がコメントを付けてニコニコをするのです。ちなみに第1回目の例会には、29万円集まったそうです。それを例会が始まると発表しその他誕生日なども発表して大体40人ぐらいいたでしょうか。お客様紹介(山形南ロータリークラブ)30人くらいをしてみると、程なく30分が経ち、ゲスト卓話が始まるというものでした。食事は、点鐘が鳴ると給仕された方から食べようです。お客様を入れて140人を超える例会は初めての体験でしたが、流石名門クラブ、整然としながら無駄がなく、ロータリーソングはナマピアノ演奏と元歌手が歌いながらの指揮者でした。オクラホマの例会もそうでしたが、ゲストの方への気遣いが慣れていて、とてもいい例会に出席することができました。

幹事報告

浅野 裕幸 幹事

1. 上期会費の納入書を送付させていただきました。上期年会費115,000円に加え、地区災害特別支援金3,000円、合わせて118,000円となります。7月末日が期限となっておりますのでよろしくお願ひ申し上げます。
2. 7月8日(金)東根RCのお誘いにより、東京西RCへメイクアップに会長、幹事、武田秀則会員、齋藤伸治会員の4名で参加してまいりました。
3. 7月9日(土)14:00~ホテルメトロポリタン山形におきまして米山奨学セミナーが行われ、会長、幹事、伊勢和正会長エレクト、石山祐介副幹事、伊藤誠ロータリー財団・米山奨学会委員長の5名で参加してまいりました。

大久保章宏君 今年度、中長期検討委員長をさせていただきます。よろしくお願ひいたします。
熊谷 昌和君 今年度、会員増強・職業分類小委員長をさせていただきます。よろしくお願ひいたします。
石山 祐介君 今年度、広報委員長をさせていただきます。よろしくお願ひいたします。
土肥 成二君 今日から入会させていただきます。よろしくお願ひいたします。
中村 篤君 今年度、雑誌・広報小委員長をさせていただきます。よろしくお願ひいたします。
浅野 裕幸君 先日親戚の不幸に際し、クラブからお心遣いいただきました。ありがとうございました。
佐藤 直人君 今年度、会報・史料小委員長をさせていただきます。よろしくお願ひいたします。



7月8日東京西RC例会へメイクアップ。パナー交換する寺崎会長。

新入会員のご紹介

スポンサー 武田寿美男君
(株)ドコモ CS 東北山形支店 支店長
土肥 成二君



委員会報告

ニコニコBOX 佐藤 学君

寺崎 利彦君 先日、東京西ロータリークラブにメイクアップ訪問してきました。
伊勢 和正君 今年度、会員増強委員長をさせていただきます。よろしくお願ひいたします。
伊藤 誠君 今年度、ロータリー財団委員長をさせていただきます。よろしくお願ひいたします。

○本日出席・前回修正出席

	会員総数	出席義務会員数	出席会員数	出席率
本日	51名		35名	
前回修正	53名	48名	48名	100.0%
他クラブで メイクアップ された会員	(山形西) 青山治右衛門 高橋 順治 寺崎 利彦 武田 和夫 (東京西) 寺崎 利彦	熊谷 昌和 阿部 浩一 川合 賢助 伊藤 誠 伊勢 和正 石山 祐介		

※本日の結果は2週間後に報告※修正は2週間前の結果報告
出席会員数÷算出会員数=出席率
算出会員数とは？ 出席義務会員+マイク免除会員の出席者
出席会員数とは？ 出席義務会員の出席者+マイク免除会員の出席者+マイク会員

例会場/ホテルキャッスル 例会日/毎週火曜日 12:30~13:30

事務所/山形市十日町1-1-26 歌懸稲荷神社 社務所ビル2F TEL.023-632-7777 FAX.023-624-5200

山形市内 例会日案内

月曜日

山形西 山形イブニング

火曜日

山形中央

水曜日

山形

木曜日

山形北

金曜日

山形東

常任委員会及び小委員長発表



広報委員会



委員長 石山 祐介 君

広報委員会は佐藤直人小委員長率いる会報・史料小委員会と、中村篤小委員長率いる雑誌・広報小委員会の二つの小委員会で構成されております。活動計画といたしまして、ロータリーに関する情報を広め、クラブの奉仕活動や委員会活動を広報してまいります。ホームページの充実や、マスメディアの露出等で広く地域社会に情報発信を行い、ロータリーの理解を深めて頂くことで、山形南クラブの共通課題であります会員増強に寄与してまいります。1年間、会員皆様のご協力をお願いいたします。



会報・史料小委員会



委員長 佐藤 直人 君

会報委員会では、当クラブの例会を記録し、読んでいただく方の記憶に残り、かつ当クラブの意義や魅力が伝わるような紙面づくりを目指していきます。目標・方針
1. 毎週、週報として発行いたします。読みやすく、わかりやすい文面での紙面づくりを行います。
2. 出席率の向上や会員増強のツールとなるような楽しく、親しみのある会報を目指します。
3. 「本日の一言」として会員より「月ごとのテーマ」に合わせた一言と写真を掲載致します。



雑誌・広報小委員会



委員長 中村 篤 君

寺崎会長のテーマ「地域社会にロータリークラブを広げて行こう」に基づいて、ロータリーの理解を深めることと情報の発信をすすめていきます。ロータリー活動に関心をもち、理解を深めていくために、公式な文書、雑誌を読むことは効果的であり、ロータリアンとしての義務でもあります。また、ホームページや様々なメディアによる広報を活用することもできます。[ガバナー月信] ……ガバナーメッセージや地区の活動情報を知らせる [ロータリーの友] ……国内の各地区の活動状況やRIの情報、記事が掲載され、ロータリーを理解する上で重要な役割をもち特に重要な記事について例会時にお知らせしていく [ホームページ] ……内容の充実につとめ、ロータリー活動を内外に発信していく [月間卓話] ……4月に例会を計画 [マスメディアによる広報] ……地元メディア、「ロータリーの友」などへの情報発信

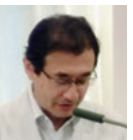


会員増強委員会



委員長 伊勢 和正 君

会員増強委員会は会員増強・職業分類小委員会（熊谷昌和委員長）とロータリー情報小委員会（松田勝彦委員長）の2つの委員会で構成されております。今年の寺崎利彦会長テーマである「地域社会にロータリークラブを広げて行こう」の基本方針のもと2つの委員会が両輪となり会員増強の為に活動を繰り広げたいと考えております。
① 会員60名体制を目指す。いまだ入会者のいない職種・職業の分類を洗い出し、会員にその情報を周知してもらおう。その上で身近な方への入会勧誘をお願いする。
② 若い人を育てクラブ活性化の為に活躍してもらいたい。いずれ創立50周年を迎える我がクラブの歴史や歩み、またロータリアンとしての心構えを若いクラブ会員に伝達する。



会員増強・職業分類小委員会



委員長 熊谷 昌和 君

今年度は、会員数純増3名を目標とし、56名の会員を目指します。活動項目
1. 会員増強・拡大月間である8月23日の例会時、地区としての会員増強に対する考えを、地区の会員増強委員長 坂部登氏よりお聞きする卓話を開催し、今年度の活動に活かします。
2. 会員各位より提供いただいた新入会員候補者情報シートによる候補者及び様々な機会をとらえて、得られた情報による候補者に対してロータリークラブ入会を勧めます。
3. 会員増強活動の基本である現会員数の維持の為、会員の退会防止に努めます。会長、幹事並びに会員皆様からの情報が何よりも重要と考えます。会員皆様のご協力、よろしくお願い致します。



ロータリー情報小委員会



委員長 松田 勝彦 君

① 新入会員の皆さんと情報委員会のメンバーに、会長、幹事出席のもと、勉強会（ファイヤーサイドミーティング）を開催。大いに語り合っ、早くロータリーに馴染んでいただきます。ロータリーの原点に戻り、ロータリーは楽しい所で心のよりどころであると、自分から出席したくなるような勉強会にしたい。
② 新入会員に、地区行事に参加していただき、心を大きく、知識を高めていただきます。



ロータリー財団・米山奨学委員会



委員長 伊藤 誠 君

ロータリー財団は「ロータリアンが健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済する事を通じて、世界平和、親善を達成すること。」を使命としております。私達は、財団への支援を通じて、人々の生活向上に貢献する力を得る事が出来る事になります。今年度はロータリー財団創設100周年の節目の年です。「世界に良いことをしてきたロータリー」の意義の強調と財団への寄付の増強と会員全員の目標達成をよろしくお願い致します。米山奨学会は、「今後、日本の生きる道は平和しかない、それをアジアにそして世界に理解していただくには、一人でも多くの留学生を迎え入れる事」として、発足されました。当クラブでは今年度も世話クラブとして、留学生を受け入れておりますので、身近な存在として、支援するのはもちろん、私達も積極的に他国のごとを学び、相互理解を深めてまいります。皆様のご支援よろしくお願い致します。

ロータリー財団小委員会



委員長 菊地 賀治 君

ロータリー財団は、1917年アーチC・クランクRI会長が「世界で良い事をするために」基金の設置を提案し本年度が100周年の節目を迎えます。1928年「ロータリー財団」と名付けられ、国際ロータリー内の新しい組織となりました。ロータリー財団の目的や仕組みを会員に理解して頂くと共に、クラブも地域社会の為に良い事を実践している事を知ってもらい、ロータリー財団への理解と協力をお願いしたいと考えています。
1. クラブ寄付として、クラブ会員1人50ドルをクラブより一括拠出する。
2. 個人寄付として、クラブ会員より1人100ドルの寄付をお願いする。
3. ロータリー財団への寄付をさらに進めるため、ロータリーカードの普及に努める。
4. ロータリー月間に、財団フォーラム等を開催し寄付申込の推進を行う。

米山奨学委員会



委員長 阿部 浩一 君

当委員会では、日本で学ぶ全国の外国人留学生に対して、米山記念奨学事業として支援を行って行く窓口として、皆様のご理解を深めていくとともに、ご協力依頼を継続していく事を目的と致します。計画
① 米山奨学会の理解、特徴を多くの皆様に理解していただける様に広告塔としての役割を果たす。
② 米山奨学生の受け入れ事業
③ 11月のフォーラムの開催
④ 寄付目標額の設定 一人¥15,000(特別寄付¥10,000 普通寄付¥5,000) 皆様のご協力を何卒宜しくお願い申し上げます。



中長期検討委員会



委員長 大久保章宏 君

計画書
この委員会は、鈴木会長年度に年度方針である「もっといいロータリークラブになるよう」、先輩達が築き上げた山形南RCの伝統と品格を未来に伝え、さらに活気ある楽しいロータリークラブ作りを目指す為に、今後中長期的にどの様な方向にクラブは推移する事がベストな道なのかを検討し、クラブ理事会、各委員会へ提言し、そして全会員と共に会長の目指す方向に到達出来る様に活動する委員会として新設されました。寺崎会長は年度方針に「地域社会にロータリークラブを広げて行こう」を掲げられ、50周年まであと4年、中長期にわたり山形南ロータリークラブの伝統を伝え広めていき、地域社会との交流を深めて行こうと方針を決められました。鈴木年度から継続して中長期検討委員会は、会長方針に沿って50周年を見据えてのクラブの方向性を、会員の皆様方と進めていきたいと考えています。山形南ロータリークラブは、1972年2月22日に創立されました。設立時会員数は30名、平均年齢50歳でした。以来着実に多くの先輩ロータリアンの皆様方のご尽力により着実に会員数も増加し、歴史を築き上げて頂きました。山形市内4番目のクラブとして発足し、5番目のクラブ（山形東RC）が発足した時には、会員数84名に達していました。その後創立30周年の時、山形南ロータリークラブがスポンサーとなり、山形イブニングロータリークラブを創立させる事が出来ました。当時の会員数は86名、しかし会員増強を山形イブニングロータリークラブ創立に専念し山形南ロータリークラブの会員増強は中々進まず、30周年以降は会員数の減少に悩まされ続けています。そして2008年、創立37年目にして初めての武田和夫ガバナーを輩出し、以来会員数の確保、若手新入会員の増加、そして現在では平均年齢61歳で、第五ブロック10クラブの中でも平均年齢の若いクラブとなりました。会長方針の中にあります「50周年までには60名の会員を」を最優先項目と考え全会員で会員増強を進めていきたいと考えています。今年度は山形南ロータリークラブがホストクラブとして第5ブロックIMを開催します。IMを成功させる為に全力で取り組みたいと考えています。IMが50周年のステップになれば幸いです。計画
◎ 酒井彰ガバナー方針 会員増強目標純増1名の厳守、全会員で努力する
◎ 50周年時の会員数60名を目指す為の増強（早い時期に60名を達成）
◎ 50周年に向けて、継続的な奉仕活動（山形南RCメインの活動）を検討し、提案する
◎ IMを成功させる（長沢AGのサポート体制を整える）